

## 平成 28 年度「大阪市中学校 3 年生統一テスト」における 今宮中学校の結果分析について

大阪市による「大阪市中学校 3 年生統一テスト」について、平成 28 年 10 月 6 日（木）に、第 3 学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

### 1. テストの目的

（１）テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成 29 年度大阪府公立高等学校入学選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。

（２）学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

### 2. テストの対象

- ・原則として、大阪市立中学校の第 3 学年
- ・今宮中学校では、第 3 学年 54 名

### 3. テストの内容

- ・国語、社会、数学、理科及び英語の 5 教科

# 平成28年度 大阪市中学校3年生統一テストの結果概要

大阪市教育委員会

○調査実施日  
・平成28年10月6日(木)

○学力に関する調査  
・国語、社会、数学、理科、英語

○調査対象  
・中学校第3学年

○調査対象校数  
・130校

○調査対象生徒数  
・17,434人

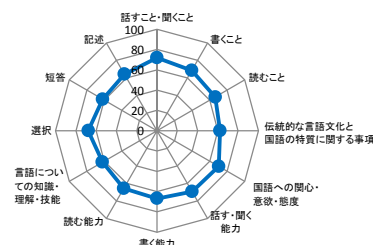
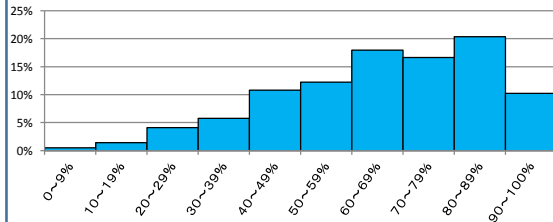
## 【国語】

平均正答率(%)

65.4

■学力の分布は、80～89点を頂点とする山型です。  
■「話すこと・聞くこと」「話す・聞く能力」については、良好な結果でした。

調査対象校数 130校 調査対象生徒数 17,362人



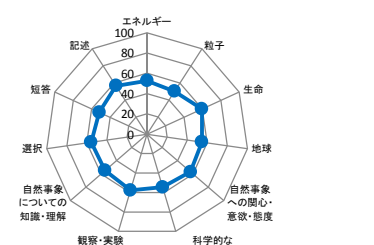
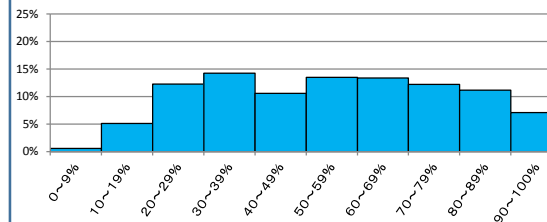
## 【理科】

平均正答率(%)

55.0

■学力の分布は、台形型になっています。  
■「生命」「観察・実験の技能」については、良好な結果でした。

調査対象校数 130校 調査対象生徒数 17,434人



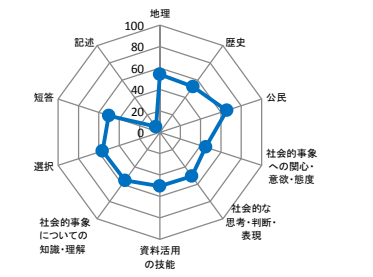
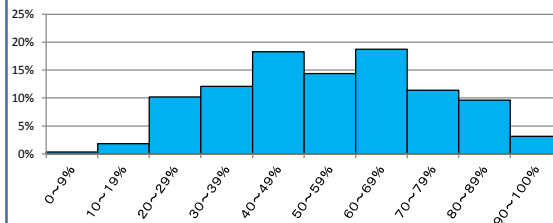
## 【社会】

平均正答率(%)

54.4

■学力の分布は、60～69点を頂点とする山型です。  
■「公民」「社会的事象についての知識・理解」については、良好な結果でした。

調査対象校数 130校 調査対象生徒数 17,422人



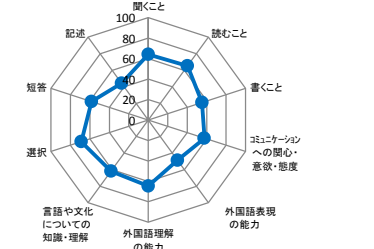
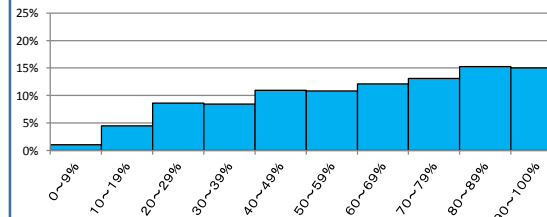
## 【英語】

平均正答率(%)

61.2

■学力の分布は、80～89点を頂点とする山型です。  
■「聞くこと」「読むこと」「外国語理解の能力」については、良好な結果でした。

調査対象校数 130校 調査対象生徒数 17,423人



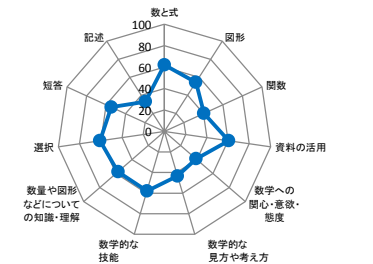
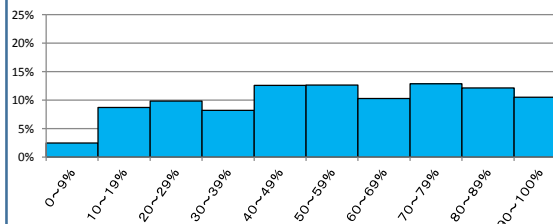
## 【数学】

平均正答率(%)

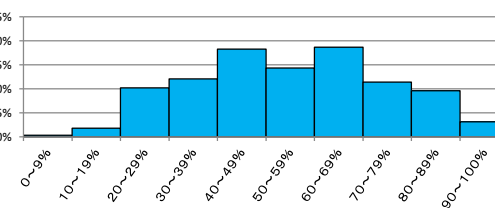
56.0

■学力の分布は、台形型になっています。  
■「数と式」「資料の活用」については、良好な結果でした。

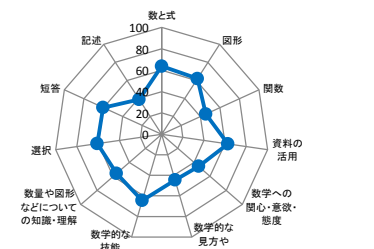
調査対象校数 130校 調査対象生徒数 17,392人



## データの見方



【ヒストグラム】  
平均正答率10%ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示したもの



【レーダーチャート】  
「領域」や「評価の観点」、「問題形式」別の結果のそれぞれの配点に対する割合(%)を線で結んだもの

# 平成28年度「大阪市中中学校3年生統一テスト」検証シート

実施日 平成28年10月6日(木)

学校名	大阪市内立今宮中学校
-----	------------

生徒数(人)	54
--------	----

## 平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	62.8	51.1	56.6	56.8	63.4
大阪市	65.4	54.4	56.0	55.0	61.2

## 結果の概要

国語、社会は大阪市平均を若干下回り、数学、理科、英語では大阪市平均を若干上回った。全体として、大阪市平均の99.6%で、ほぼ大阪市平均並みと言える。国語では伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が全市に比べて4.2ポイント低いのが目立った。社会では短答で答える問題では全市に比べて12.7ポイント低いが、記述式では4.7ポイント上回っている。数学はほぼ大阪市平均並みで、理科は記述式回答では全市を5.3ポイント上回っていた。英語は各カテゴリ総じて全市より高めであった。

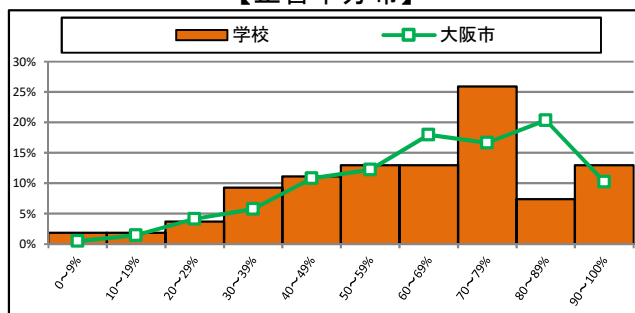
## 成果と今後取り組むべき課題

各教科共に基礎基本を中心に、苦手層の学力向上を中心に取り組んできた。カテゴリ別の分析でも、全市平均と大きく異なるものではないが、一部全市より低い項目については、指導法等を見直しながら、更に効果のある教科指導を進めていきたい。家庭での学習時間の確保に課題のある生徒も少なくなく、引き続き苦手層の学力向上、充実に向けて取り組む。

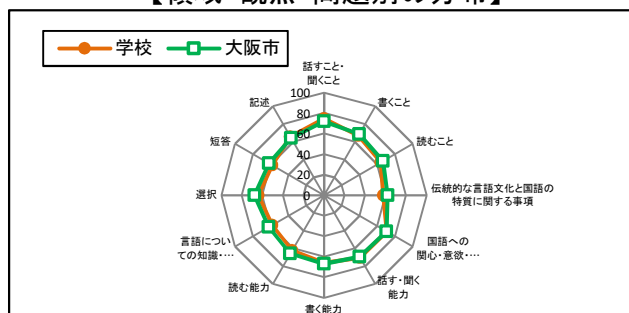
# 【各教科の正答率分布と領域・観点・問題形式別平均正答率の分布】

## 【国語】

【正答率分布】

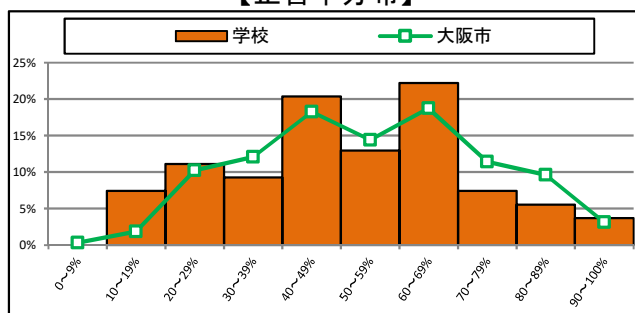


【領域・観点・問題別の分布】



## 【社会】

【正答率分布】

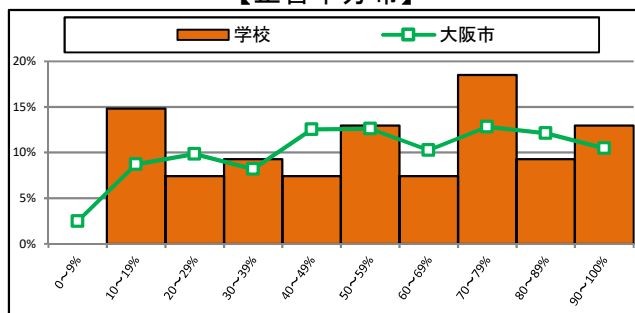


【領域・観点・問題別の分布】

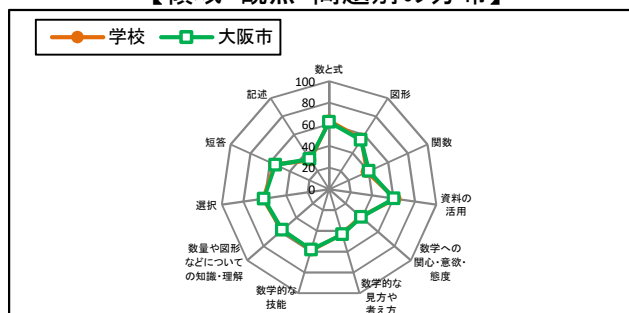


## 【数学】

【正答率分布】

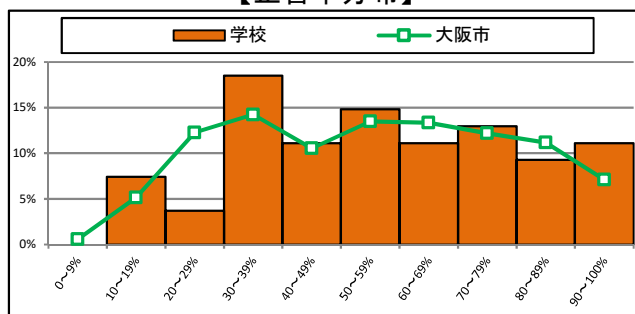


【領域・観点・問題別の分布】

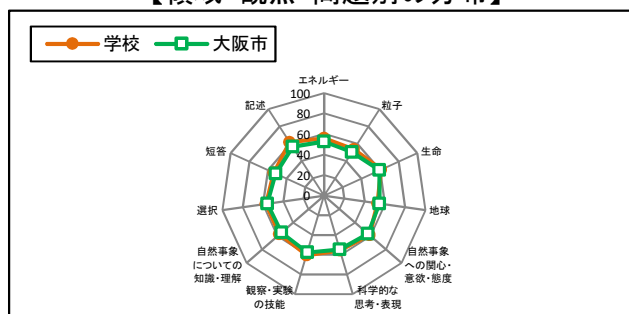


## 【理科】

【正答率分布】

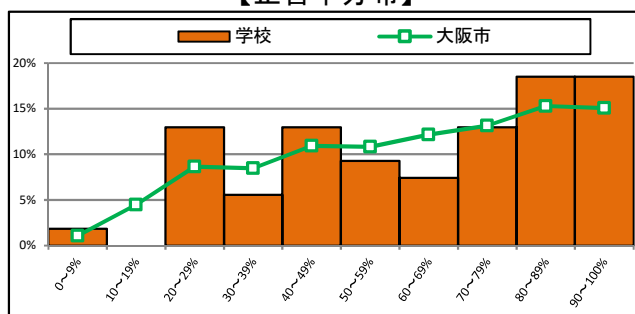


【領域・観点・問題別の分布】



## 【英語】

【正答率分布】



【領域・観点・問題別の分布】

